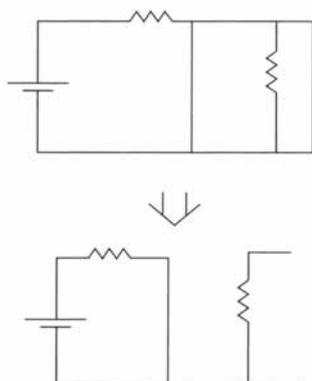
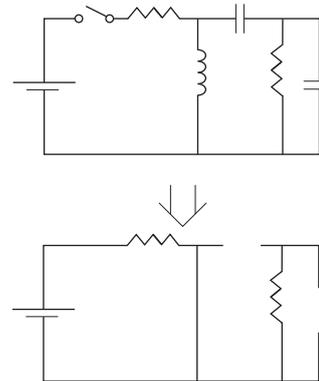
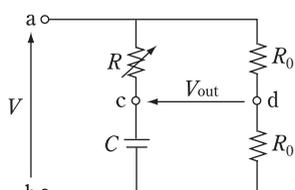
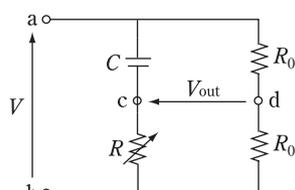
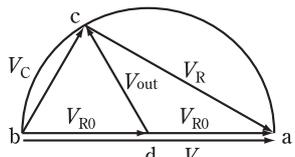
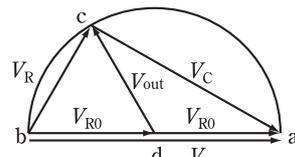
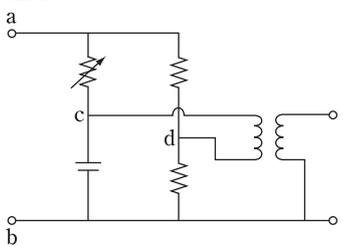
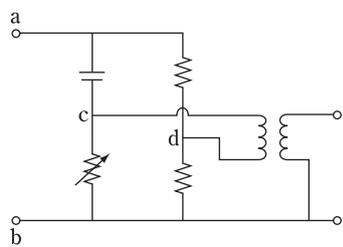


ページ	誤	正
5	5ページ目 上から10行目 のかは,大きさを・・	のは,大きさを・・
28	28ページ目 (2.6.2) 式 $\left. \begin{aligned} R_{12}I - (R_1 + R_{12})I_1 - R_2I_2 &= 0, \\ R_3I - (R_3 + R_{23})I_1 + (R_2 + R_{23} + R_3)I_2 &= 0, \\ R_3I + (R_1 - R_3)I_1 + (R_2 + R_3)I_2 &= V. \end{aligned} \right\}$	$\left. \begin{aligned} R_{12}I - (R_1 + R_{12})I_1 - R_2I_2 &= 0, \\ R_3I - (R_3 + R_{23})I_1 + (R_2 + R_{23} + R_3)I_2 &= 0, \\ R_3I + (R_1 - R_3)I_1 + (R_2 + R_3)I_2 &= V. \end{aligned} \right\}$
28	28ページ目 (2.6.3) 式 $\begin{pmatrix} R_{12} & -(R_1 + R_{12}) & -R_2 \\ R_3 & -(R_3 + R_{23}) & (R_2 + R_{23} + R_3) \\ R_3 & (R_1 - R_3) & (R_2 + R_3) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} I \\ I_1 \\ I_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ V \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} R_{12} & -(R_1 + R_{12}) & -R_2 \\ R_3 & -(R_3 + R_{23}) & (R_2 + R_{23} + R_3) \\ R_3 & (R_1 - R_3) & (R_2 + R_3) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} I \\ I_1 \\ I_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ V \end{pmatrix}$
44	44ページ目 下から3行目 5Vの電源を短絡除去しておいて・・	回路の電源すべてを短絡除去(定電圧源)か開放除去(定電流源)しておいて・・
81	81ページ目 図3.3.13 	
81	81ページ目 上から10行目 急峻な電流パルスによって発生する電磁波, シールドが・・	急峻な電流パルスによって発生する電磁波が, シールドが・・
87	87ページ目 (3.3.37) 式 $A = \frac{E_0}{\sqrt{R^2 + (\omega L)^2}} \sin(\theta - \Psi)$	$A = - \frac{E_0}{\sqrt{R^2 + (\omega L)^2}} \sin(\theta - \phi)$
107	107ページ目 欄外 注3: よくみる「証明」は, $e^{j\theta}$ のフーリエ展開——指数が虚数であることを無視し, 形式的に実数の指数関数のフーリエ展開の公式を適応する——が, $\cos\theta$ のフーリエ展開と, $\sin\theta$ フーリエ展開に j をかけたものと和・・	注3: よくみる「証明」は, $e^{j\theta}$ のテイラー展開——指数が虚数であることを無視し, 形式的に実数の指数関数のテイラー展開の公式を適応する——が, $\cos\theta$ のテイラー展開と, $\sin\theta$ テイラー展開に j をかけたものと和・・
135	135ページ目 上図5.1.7 左縦軸 $-\frac{\pi}{4}$	$\frac{\pi}{4}$
140	140ページ目 上図5.2.1 	

ページ	誤	正
141	141ページ目 図5.2.2 	
141	141ページ目 図5.2.3 	
148	148ページ目 (5.4.13) 式 $= \frac{1}{R} \left\{ \frac{1}{1+Q^2 \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)^2} - \frac{Q \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)}{1+Q^2 \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)^2} \right\}$	$= \frac{1}{R} \left\{ \frac{1}{1+Q^2 \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)^2} - j \frac{Q \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)}{1+Q^2 \left(\frac{f}{f_0} - \frac{f_0}{f} \right)^2} \right\}$
156	156ページ目 下から4行目 反比例するので、これは..	比例するので、これは..
162	162ページ目 (5.5.11) 式 $\therefore V_1 = \pm a V_2, L_1 = a_2 L_2$	$\therefore V_1 = \pm a V_2, L_1 = a^2 L_2$
163	163ページ目 欄外 注11 $ I_1' $ の比は α , すなわち, $\frac{ I_2 }{ I_1' } = \alpha = \frac{n_1}{n_2}$ である.	$ I_1' $ の比は a , すなわち, $\frac{ I_2 }{ I_1' } = a = \frac{n_1}{n_2}$ である.
164	164ページ目 下から7行目 の L_1 を二次換算 ($L_1 = (1/a^2) L_2$) で二次側に移した回路..	の L_1 を二次換算 ($L_2 = L_1/a^2$) で二 次側に移した回路..